

ニュース&トピックス

春の農作業に向けて 農業機械展示会を開催



▲ 担当者から説明を受ける来場者

JA農業機械展示会『春のふれあい感謝デー』が、能代農機センターを会場にした3月10日から、管内3地区にて開催されました。

会場では田植え機やトラクターなど、各メーカー自慢の農業機械が多く展示されました。来場した人たちは興味津々に機械を眺め、担当者から説明を受けながら、春の農作業に向けた機械の品定めをしていました。

同展示会は17日と18日に二ツ井・藤里農機センターにて、24日と25日に旧藤里農機センターにて開催されました。

23年度の事業計画を協議 小なす部会総会



▲ 事業内容について報告する会員

JAあきた白神小なす部会総会（佐藤弘部会長）が3月22日、二ツ井総合観光センターにて開催され、平成22年度事業報告や平成23年度事業計画など全4議案が提出され、原案通り承認しました。

同会には生産者11人が参加。昨年の春先の低温や日照不足、夏の猛暑の影響で、小なす栽培にも被害が出たことが報告されました。部会としては、他産地への視察研修や昨年の結果を踏まえた栽培方針を統一させ、23年度に向けて取り組むことを決定しました。

地域の連携強化によって農政の大転換期を乗り切る



▲ 女性部の新役員も決定した

まず、それを受けて女性部では、家庭での健全な食生活の推進や地域の食文化の継承、地産地消運動の実践を通して、地域住民の連帯強化と農業の活性化を進めています。出席した女性部員らは、一致団結して地域農業を守っていくことを決意していました。

JA女性部による通常総会が3月29日、ホテルゆとりあ藤里で開催され、平成22年度事業報告並びに収支決算、平成23年度事業計画並びに収支予算など全4議案について協議が行われ、原案通り承認しました。

近年、社会・農業情勢が大きく変化している中で、「食」と「農」の大切さが見直されてきてい



▲ J A女性組織綱領を唱和する部員